

健診採血後の止血バンド使用の有効性について2

田村 美香子 大前 利道 大前 由美
沼本 美由紀 布施 智子 芝垣 友美

止血バンドの有効性1の検証

前回

止血バンドを導入し、有効性はあるか検証し、採血人数10,531名中、後出血は2名のみという結果となり、有効性を確認できた。

今回は、前回での課題点、バンドを外すタイミング、紛失についてを改善したので、その結果を報告する。

目的

採血後の刺入部からの、血腫形成を防ぎ、かつ、スタッフおよび受診者の手を煩わせることなく、検査を円滑にすすめることができることを目的とする。

対象

平成20年4月1日
～
平成21年3月31日までの1年間で採血項目のある健診受検者

11,422名

方法

TSUKUBA-Digital-WeBの止血バンドを購入してすべての受検者に使用。採血時にバンドを自らはずさないよう注意を促し、止血のためには、約5分位の時間が必要であることを説明する。採血後の検査にあたるスタッフが除去し、除去したスタッフが止血の確認、血腫形成がないかなどの確認を行っている。一度、使用したバンドはガス滅菌にかける。その止血効果を検証する。

費用について

止血バンド	1本 475円	
ガス、ポンペ	18回分 約6万円	月 約1.3万円
その他	電気代 滅菌バック	

止血の確認

ガス滅菌器

Eogelk
SA-N160
エキテック95
1ポンペ 15g
成分
酸化エチレン
95vol%
CO2 適量
1回2.2時間



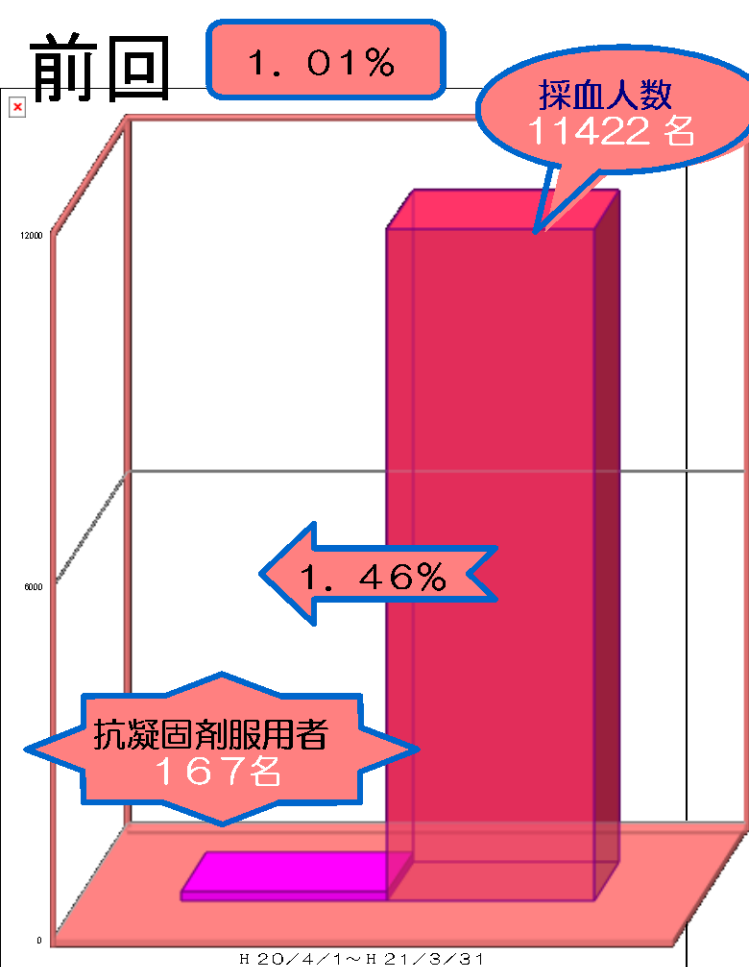
抗凝固剤服用者

平成20年4月1日～
平成21年3月31日までの1年間で採血項目のある健診受検者 11,422名中

167名

成績

止血バンド使用前は、多い日では1日採血人数40名のうち1名に程度の差はあれ血腫が認められた日もあった。それが前回の研究では、後出血を2名におさえることができ、また、その2名は、抗凝固剤を服用されている方だった。今回の成績では、対象の1年間で血腫がみられた方は、3名となったが、この3名は抗凝固剤を服用していない方だった。



バンド使用後の血腫

- 30代女性 がきついとので早めにはずしたところ、出血し腫れた
- 30代女性 携帯ゲーム機に夢中になりバンドがずれて、腫れた
- 50代女性 止血確認しバンド除去後、胃XP検査中に力の入れ加減か何かで出血し腫れた

結語

止血バンドは、採血後の再出血、血腫形成を高確率で防ぐことができ、結果として、クレームの減少につながり、受検者の満足度を高めてくれた。特に注意していなくても、抗凝固剤服用の受検者167人すべての後出血が予防できたことは、止血バンドは有効性が高いと考えられる。